

平成 26 年（2014 年）の鳥海山の火山活動

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

地震活動、噴気、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○ 発表中の火山現象に関する警報等

平成 19 年 12 月 1 日 10 時 20 分	噴火予報（平常）
----------------------------	----------

○ 2014 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

上郷に設置してある遠望カメラでは、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震および火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3、図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 鳥海山 山頂周辺の状況（12 月 28 日）

・上郷（山頂の北西約 10km）に設置してある遠望カメラの映像です。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

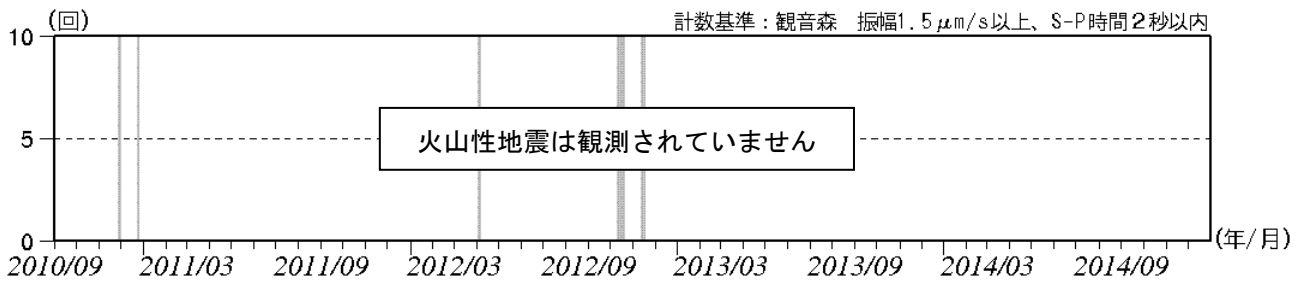


図 2 鳥海山 火山性地震の日別回数 (2010 年 9 月～2014 年 12 月)

- ・ 2010 年 9 月 1 日より観測を開始しました。
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測です。
- ・ 観測開始以来、火山性地震は観測されていません。

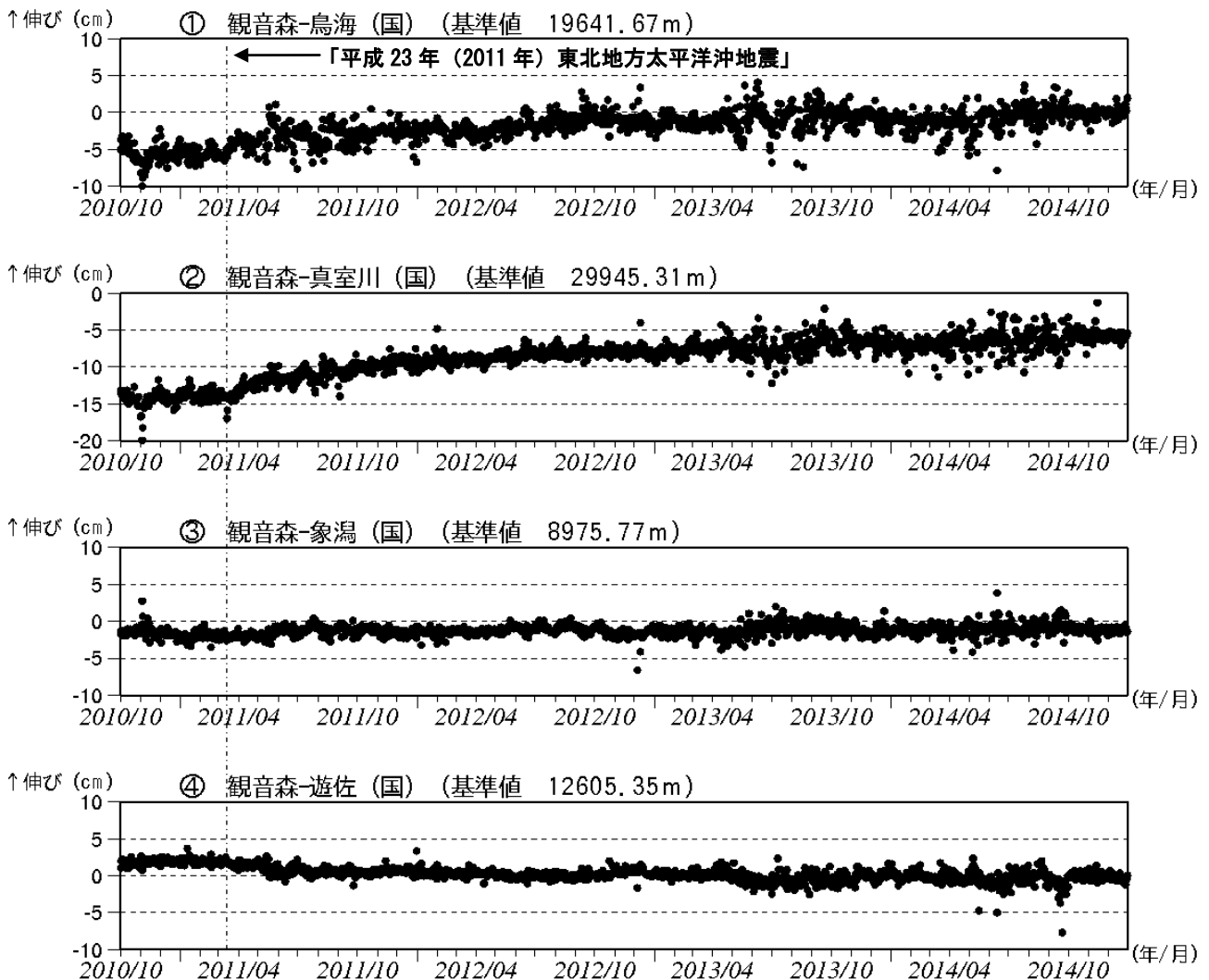


図 3 鳥海山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2010 年 10 月～2014 年 12 月)

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- ・ 2011 年 3 月 11 日以降の変動は、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～④は図 5 の GNSS 基線①～④に対応しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- (国) : 国土地理院

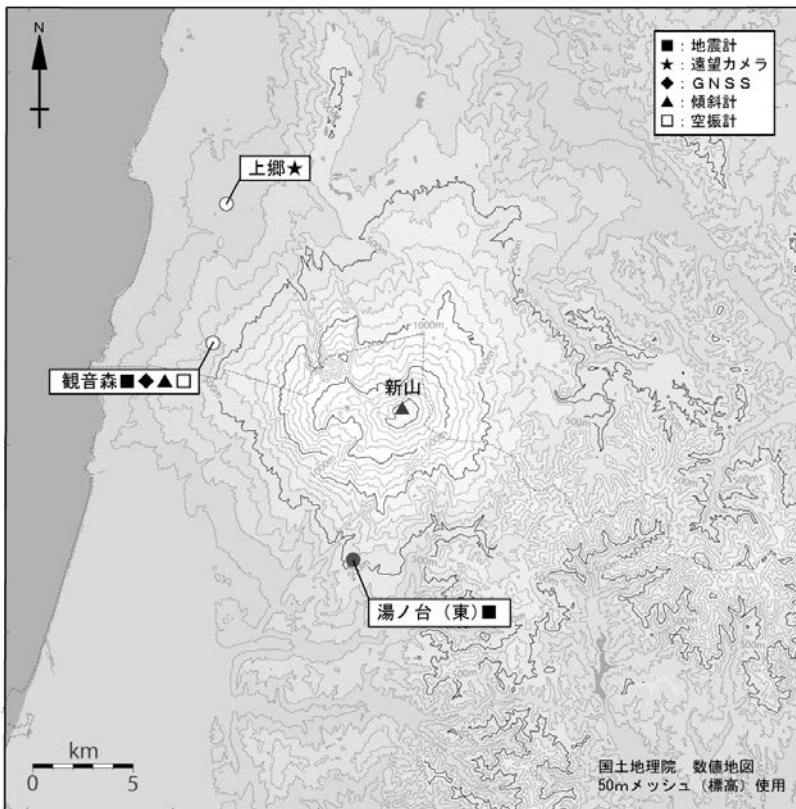


図 4 鳥海山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
 小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機
 関の観測点位置を示しています。
 (東) : 東北大学

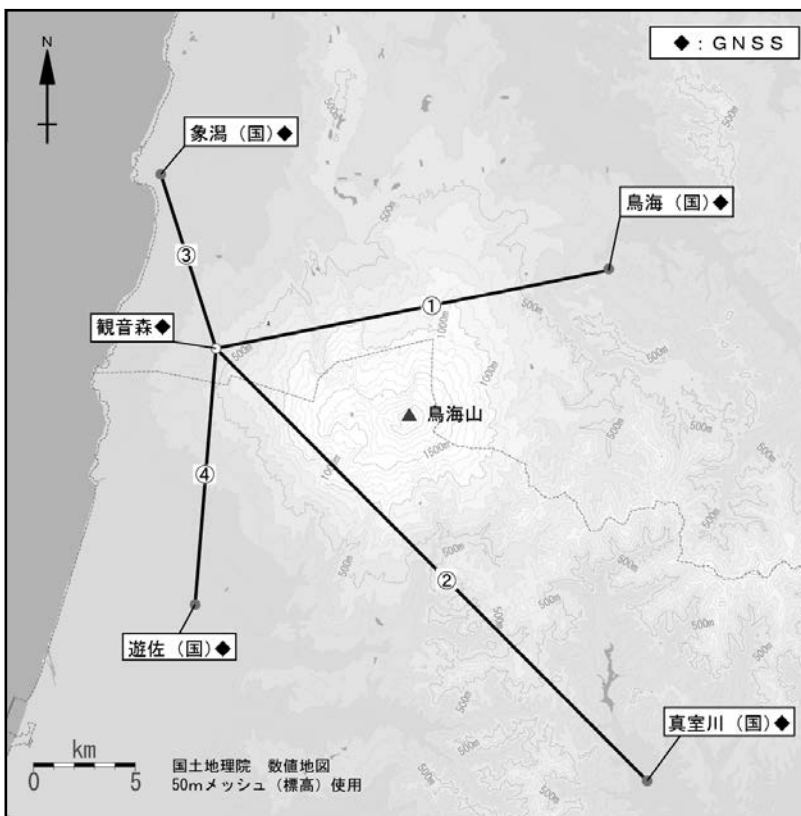


図 5 鳥海山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
 小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機
 関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院

表 1 鳥海山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	観音森	39° 07.75'	139° 56.36'	335	-98	2010.9.1	短周期 3成分 ポアホール型
空振計	観音森	39° 07.8'	139° 56.4'	335	3	2010.9.1	
傾斜計	観音森	39° 07.8'	139° 56.4'	335	-98	2011.4.1	
GNSS	観音森	39° 07.8'	139° 56.4'	335	4	2010.10.1	2周波
遠望カメラ	上郷	39° 11.5'	139° 56.8'	175		2010.4.1	